



□トランペット片手にブラジル一人歩き

# 昔のサンパウロと ガファイエーラ

右近 雅夫（八在ブラジル・サンパウロ／絵も）

二十五年振りの訪日の旅を終え、六月四日の午前十時五十分、快晴のサンパウロ空港に無事帰って来た。「ほら、パーイ、パーイ」と叫びながら、ブラジル人の妻が、六才になる一人息子の手を引いて駆け寄って来るや、三人固く抱き合い、ほったにキスした。空港には弟や妹の主人のほか、親友のペドロ・ロドヴィッシが夫人と二人の子供を連れて迎えに来ており、お互いに肩を抱き合い、感激の再会であった。

車に乗ってほっとした瞬間、二十五年前、両親と弟、そして小さな二人の妹の六人家族で、はるばる神戸から「サントス丸」でブラジルへやって来た当時のことを想い出した。友達や親戚一人としていたわけがなく、ポルトガル語もちんぷんかんぷん、西も東もわからぬまま、パドレ・ジョン・マノエル通りという、当時はちょっとした住宅地に親父が手頃な家を見つけて来て、とにかくそこに一家で住み着くこととなった。

引越した翌日は日曜日だったが、未だ夜の明け切らぬうちから、表でがやがや人声がして、トラックから荷物をおろす物音に目を醒まされた。

朝起きて、窓から外をのぞいて驚いたことには、昨日の静かな並木通りは、一夜のうちに、テント張りのバラックが埋めつくされ、俗に「フェイラ」と呼ばれる移動市に一変していた。急いで朝のカフェを飲んで、表にとび出すと、まぶしい朝の日光の下を、買い物籠を下げたり、手押し車を引いて、行き来する人達で往来は一杯である。露天商人達は、耳ががながんするような大声を張り上げて、果物や野菜をせり売りに忙しい。

すると、突然一人のブラジル人の男が話しかけて来た。「ブラジル語日常会話」の参考書を片手に、船の中で勉強したポルトガル語の知識だけでは、最近日本からやって来たんだらう？と聞いているらしいのに対し、「シン」(Sim)と答えるのがやつのことであった。こちらが言葉が解らないことなどおおかまいなしに、話好きそうな彼は、一人でべらべら喋り続けた。彼の名はベネジット・カマルゴ、通称ベネーといい、紙問屋のセールスマンだが、ウィークエンドには、夜、アルバイトでピアノを弾いているということを聞き、音楽なら僕も日本でトランペットをやっていたんだとい

うと、話が合って、いっぺんに友達になっちゃった。

早速、その日の夕方、彼は家にやって来て、今夜、自分は「ガフイエーラ」のオーケストラでピアノを弾くんだが、トランペットを持って一緒に遊びに行かないか？と誘ってくれた。ベネーさんと僕は、下町の方へ行くボンデにぶらさがっていた。全く方角感のなかった当時のことだが、今考えると、確かランジェル・ペスターナ街とピラチニンガ通りの交差点辺りでボンデを降り、角っこでちよつとさびれたビルの中に入って行った。二階でエレベーターを降りると、異様な雰囲気にかされた。どっちを見ても、着飾った黒人の男女ばかりで、奥のホールからは強烈なサンバのバンド演奏が聞こえて来る。ベネーさんと、三人のバンドマンやボーイを除いては、白人の姿は見当らず、あたかも黒人のクラブのような感じがする。ベネーさんは平気な顔で「ここはガフイエーラと

いい、毎週日曜の晩、自分はこのバンドでピアノを弾いているんだ」といしながら、「トランペイトをやるジャポネーラの友達だ」と僕のことを皆に紹介した。真黒な顔をした、人の良さそうな黒人のトランペッターの横に坐らされると、彼は片手をポケットに突っ込み、ピーナッツを取り出すと僕にすすめた。断わるわけにも行かず、「オブリガード」(有難度う)といって口にはおはると、彼の汗でうまい工合に塩味がついていた。

ベネーさんが僕にセカンド・トランペットの譜を渡すと演奏が始まった。「シ・ヴォッセ・シエガッセ (もし貴方が来てくれたら)」初めて演奏する本場のサンバである。音楽が始まると同時に、あちこちで立ち話をしていた黒人の紳士淑女達が一齐に踊り出した。四分の二拍子で書かれたサンバの譜面なんて、その時見たのが初めてだったので、もたもたしながら、横目でお隣のルイ・アームストロング氏を見ると、まるでラッパが



Masao Ukon  
Gafieira

割れんばかりのポリウムで吹きまくっている。しかし、初めて演奏する曲にしては、どこか親しみのあるメロディだなどと思って良く聞いていると、デキシ어의「Bill Bailey, won't you please come home」や「Barbon Street Parade」と和音の進行がまるっきり同じではないか。やがて、僕のソロの番になったので、やおら立ち上り、デキシ어를演奏する時の調子で、アドリブしながら一コーラス吹きまくった。

# The Biennale of KOBE 1980

第7回 神戸須磨離宮公園現代彫刻展



広場・街路・建造物などが野外空間に及ぼし生まれる都市環境のアメニティをさぐる「都市景観のなかの彫刻」この機会に現代美術の息吹きに触れてください。

- 10月1日(水)～11月10日(月) 午前10時～午後5時
- 於：神戸須磨離宮公園 入園料金 大人200円 小人100円

● 出展作家

小田 薫	田中 薫	井上 玲子	田辺 光彰
清水九兵衛	速水 史朗	内田 和孝	寺田 栄
澄川 喜一	巖上 壽之	佐藤 哲男	馬場 美文
高橋 清	山口 牧生	鹿間厚次郎	古川 清
多田 美波	山本 正道	関 正司	松本 薫

第7回神戸須磨離宮公園現代彫刻展 エスキース優秀作品展  
9月12日(金)～21日(日) 於 ギャラリーさんちか

主 催 神戸市  
日本美術館企画協議会 朝日新聞社

こうべにふれあいのディテールを



COFFEE&CREAM 'Milky Cat' (東灘区岡本)

商業施設全般・調査企画・店舗装備・設計施工

心の通う店創り 本社 神戸市東灘区御幸通3丁目2-20  
(設計室) TEL(078) 252-1321(代)



神戸事業部 TEL(078) 251-3525(代)  
名古屋事業部 TEL(052) 561-3618  
東京事業部 TEL(03) 278-1369

神戸日建

● ローン・リースの開店資金相談



## 尾道市立美術館

米花 稔

(神戸大学名誉教授・福山大学教授)

郵政省の花をあしらった平凡な暑中見舞はがきでなく、尾道で地元風景の同じ官製はがきを売出すという珍しい新聞記事をみていて、たまたま発売日の翌日に同地を訪ねた機会に、とりあえず本局に立寄ったら既に売切れであった。残念なので目的地の商工会議所で頼んだら、そのはがきとともに、その作者である尾道栗原郵便局長桑木公彦さんに会うことができた。画歴二〇年興美展一三回入選という特定郵便局長さんである。今回は浄土寺を近景に尾道水道をのぞんだ図柄であった。尾道向島地区特定郵便局長会の支援で三年前からの試みの由であるが、官製はがきのコスト制約で観光協会などの助成の範囲でまかなうため発売枚数も限られるという。その尾道栗原の桑木公彦郵便局長が地元風景を描いた暑中見舞の官製はがき、なかなかユニークなアイデアだ。

れにしても尾道という土地柄にふれた思いがした。

まえば本誌の座談会のなかで、尾道の商店街で、地元の独立美術協会の小林和作氏を記念する有志商店のショウインドでの毎年美術展を紹介したことがあるが、これも他都市にあまりみられない特徴的な試みである。

その尾道に今春市立美術館が千光寺公園に完成した。市内の国重文の西郷寺本堂の建築様式をとりいれており、郷土資料室を併設している。その開館の催しは、山口県出身ながら半生をここに住み昭和四十九年八十六才で逝去の名誉市民小林和作氏の記念展であった。今はこれについて、「郷土ゆかりの作家たち」の展示がされている。(九月二八日まで)

尾道の景観を知り、その文学的イメージを既にもっておられるであろうこの読者の方々には、うえのようなささやかな紹介を加えて、一層この尾道という都市イメージに心ひかれることであろう。このごろ時々ここを訪ねる機会をもつ筆者も同様である。



尾道市立美術館&lt;尾道市西土堂町17-19千光寺公園内&gt;

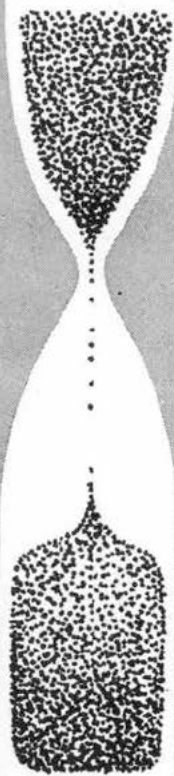
それにしても今ここで筆者のかわっている尾道の商業近代化地城計画に関連して、このような地域の特性が、この地の商業活動に十分生かされるようなとりくみが不足しているように思えてならなかった。そのためうえにあげたいくつかのユニークな試みも中途はんばに止まっている。急速に大きくなった東隣の福山市、最近大規模にすすめている駅前再開発の西隣の三原市にはさまれて、歴史と自然に恵まれた尾道のこれから、やはりそのユニークさに焦点をおくほかないと思わせられている。さきごろ尾道の青年男女と座談会をもったおり、地元でもこのような考え方が逐次たかまりつつあることを知ってホッとしました。



★キャンペーン

国際文化都市神戸を

考える



34

# 国際都市にふさわしい 充実した多彩な催し

内海

重典

〈催物企画プロデューサー・宝塚歌劇団理事〉

木下

光三

〈木下サーカス株式会社社長〉

佐野

漣箕

〈神戸新聞社文化事業局長〉

催物の一つの「目玉」―「ポートピア・サーカス」

―本誌はこれまでに来年三月から始まる神戸ポートピアイランド博覧会(ポートピア81)に、パビリオンを出展される各企業などの担当者の方々による座談会を連載してきましたが、今回は「国際広場」を中心とした催物についての紹介をお願いします。

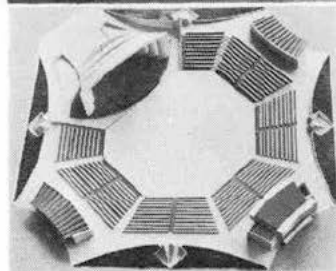
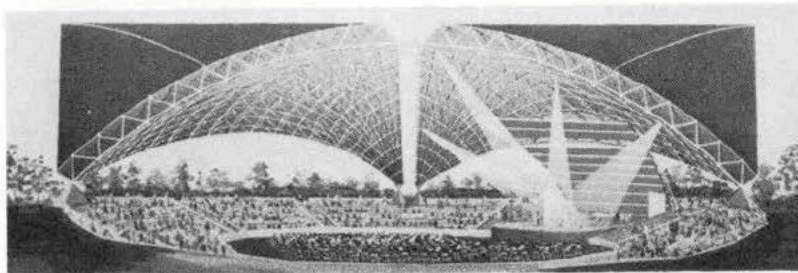
浜野 催物につきましては、二十一世紀への新しい幕明けを告げる博覧会を象徴する内容でなければならぬという事で基本方針として次の四つを決めました。

第一に、ファミリーで楽しめるよう、幅広いバラエティーに富んだ催物、第二に、県民・市民の参加を尊重し、人と人との心のふれあいを深めるもの、第三に、神戸にふさわしく国際色あふれた催物を特に多く取り入れる、第四に、優れた日本や世界の伝統的民族芸能を見直

小石 忠男 〈音楽評論家〉  
浜野 正晴 〈神戸ポートピアイランド博覧会協会事業部長〉  
す、の四項目です。

現在、催物の一件一件をつめていくところです。  
内海 私は万博のときの「お祭広場」も担当したのですが、あのときも初めは、あの広場で弁当でも食べもって郷土芸能でも見てもらおうやないかという案があった。しかし、それはいかん、我々がここでやる以上は、メイスタジアムらしく観覧席もつくって大きなものにして、ここを中心にしてようじゃないかと提案をしました。結局、途中から設計変更で観覧席も入れた。開幕をしたら「お祭広場」が中心になりましたね。

神戸博の「お祭広場」ともいふべき「国際広場」は、やはり博覧会の中心にならないといけないと思う。地方博で半年間やるということが一番大きな問題ですね。地方博はどこでも三か月で終るのが当たり前です。六か月間もたそうと思うと、相当我々も腹をすえて、企画的に



(写真上・右より)

内海 重典さん

佐野 達真さん

(写真下・右より)

木下 光三さん

小石 忠男さん

浜野 正晴さん

および「国際広場」正面図、平面図



は非常に楽しいものをもって来て、楽しい一時間半が過ぎせるところだということを主眼にする。我々が芸術的なものを出す必要はない。やはり大衆的で、集まった人たちが喜んで一時間半を過ごし、また、パビリオンへ戻ってもらえる、開演時間になるとお客さんに集まってもらえるところにしようじゃないかというのが、まず基本です。予算は万博のときより少ないのですが、それなりに充実したものをやろう、また、それが出来るという自信をもってやっています。

全体的に見ると比較的外国のものが多くなって、「国際広場」という名にふさわしくなっています。それも娯楽的なものが集まっていますので、来ていただいた方に本当に満足していただくという方針をどうやら達成できていると思います。お客さんを飽きさせないことをやるというのが一つの目的です。それで企画を進めています。

木下 今度の博覧会では、アメリカ猛獣サーカスと私どもと合同で「ポルトビアカス」を公演させていただきますことになりました。

アメリカン猛獣サーカスをまず紹介させていただきますと、まず、「ウエイン・リーガンズ・ライオンズ・アンド・タイガーズ」というアフリカライオン六頭とベンガルタイガー三頭の猛獣ショー。これは六カ月間やります。次に女三人のドリー・シスターズによる空中アクロバットショー。これも全期間やります。三番目がフライング・ボラリスという女三人、男一人のチームによる空中ブランコショー。ミスキャサリンが空中三回転に挑む勇敢さと、ミス・エバ&エリーザによる華麗な空中ブランコが見ものです。これは前半三カ月間です。後半三か月を「フライング・ヴァレンシアズ・アンド・スーパーロコス」というピエロ八人（男六、女二）が箱の上を飛んでアクロバットショーや空中ブランコをやります。

以上の所要時間が四十五分間です。それと木下サーカスのショーをまじえて一回七十分。三月二十日から四月三十日まで平日四回、日・祝日五回、五月一日から九月



十五日までは夜間興行を入れて平日五回、日・祝日六回です。観客席は三千です。時間の編成に苦勞をしています。その他、授光、衣裳にも苦勞をしています。総合演出は森繁久弥先生です。

木下サーカスの主なものは、オーブニング・パレードとつな渡りと樽回し、危機一髪、さかさ大の字ロケットショー、大きなインド象の曲芸、肩でかかえる一本竹ショーまたはゆれる青竹をわたるショー、空中アクロバットショーまたはくるくる回る人間風車ショー、アラスカのアシカの曲芸ショーなどです。

内海 やはり子供の喜ぶことを入れるべきですね。それと、ショーには楽しさときらびやかさが必要です。木下サーカスがここに入ったことは大変嬉しいですね。万博になかった特徴ある演しものですね。

木下 予算の関係で出来るか出来ないかは別問題にして森繁さんには新しい大変な構想があるようですね。

三月一日にはアメリカン猛獣ショーの貨物、動物、スタッフが全員神戸に着きます。

佐野 博覧会までにニースのカーニバルが山車(だし)をもって来ますが、テーマがサーカスなんです。それが日本のサーカスのイメージと全然違う。三台もつて来るのですが、それを博覧会で活用してもらったら有難いなと思っています。

内海 実は私は広島島のフラワーフェスティバルの総合演出を昨年からやっているのですが、一番力を入れてるのは山車なんです。神戸まつりにも山車は出ますが、もっと楽しさとか美しさ、華やかさが必要ですね。これが日本のデザインには欠けている。それはトラックを使うから固くて大きなものになる。スマートさがない。ロス・アンゼルスで正月にやるローズパレードは山車のコンクールなんです。全部クルマの床が低い。ニースからサーカスをテーマにした山車が来ることは、日本にとつてとてもいい機会ですね。参考になると思う。日本の山車をもういっぺん考え直さないといけない時代だと思

ますね。

佐野 ニースの山車をそのままと、それに人形を三十体ほど持って来ます。

内海 神戸では須磨浦女子高校のビュール・バンドが非常にスマートですから、そういったところがニースの山車と一緒にパレードをやることはいいことだと思います。会場のなかをパレードしてもいいと思う。会場内に楽しいムードをつくる必要がありますね。

いつ来ても楽しいプログラムの「国際広場」

内海 「国際広場」の催物を簡単に紹介いたします。

三月十九日が開会式。全国十一の政令都市から各ミスがやって来ます。メインはポルトビア<sup>8</sup>に対する子供さんの綴方の発表、さらにセレモニーのあとのショーでは筑前琵琶なども入れた神戸讃歌で山場をつくり、感動的な一時間の開会式を考えています。二十日から「ビバノビバノポルトビア<sup>8</sup>誕生」を四日間やる。これは開会式のときのアトラクションで組みます。三月の末は「ポルトビア音楽祭」。これは全国からノミネートされた新人歌手四十名によりグランプリを決める。四月二日から「アメリカンショー・ギャバダバドゥ」がやって来て二週間やります。歌と踊りとぬいぐるみによるダンシングチームで、総勢七十名。ダンサーとぬいぐるみが一緒に踊る世界でも珍しいショーです。子供向けで日本初公演です。そのあとは「ビバノメキシコ」。メキシコ民族舞踊団のマリアッチの演奏をまじえたショーで四月一七日から二十二日まで。その間に神戸市民の音楽祭とか神戸のファッションショーとかが入って、四月二十九日から五月一日までが「宝塚グランドフェスティバル」。これは今まで宝塚でやったものを並べるというのではなく新作です。アリーナを全部使って海外へ持って行けるショーをということが狙いです。小林公平総合プロデューサーがいるだけに我々も恥しいことは出来ません。非常に力を入れたものになります。その間、三、四、

五日と「こども世界のまつり」があります。大村崑を中心に子供と一緒に遊ぶ。二十日から二十四日までは「日本の太鼓まつり」。御陣乗太鼓とか知床いぶきたるとか、いろんな日本の有名な太鼓とオーケストラを組み合わせたショーです。五月末には神戸市の吹奏楽団のまつりがあったり、アメリカやドイツの軍楽隊が来てナショナルデーをやったり、ソ連の催しがあったり、多彩なプログラムが組まれています。六月一日から三日までは「郷土芸能・兵庫のまつり」。デカンショ節や淡路の三熊踊りなど代表的郷土芸能を大成します。武庫川学院を中心とした「体操フェスティバル」は九、十の二日間。その間ワシントン州やソ連リガ市の催しがあり、十五日から日本のレコード歌手を集めて「レコードまつり」をやります。日本の全レコード会社に集ってもらいます。十二日から十四日は「アジア民族芸能」があつて、六月末には今年二十回を迎えた「二〇〇〇人の吹奏楽」。関西のプラスの良さをここで発表したい。また、「キャンパス・ミュージックフェア」は近畿の各大学の吹奏楽などが集まります。七月の初めには「日本の演歌」をもって来る。一流歌手を集めて日本の演歌を出す。そのつぎに六日から十一日までは「BYUアメリカンショー」。ユタ州のプリンガムヤング大学フォークダンス選抜チームによる世界各国の民族舞踊公演。十三日から十五日までが「ジャンソン・ドウ・ポートピア」。菅野宏など日本のジャンソン歌手が集まります。二十二日からは夏休みになったところで「ちびっ子マンガ大集合」。マンガのぬいぐるみを中心に考えています。そのあとにスイスの民族舞踊などが入って、二十八日から八月一日までは「アフリカ民族舞踊」。セネガルの民族舞踊団による異色の踊りも入れてみたい。それから「ポートピアジャズフェスティバル」。これは野口久光にプロデュースしてもらってジョージ川口をはじめ一流のブレイヤーを集めたジャズフェスティバルで四日間予定しています。八月に入ると七日頃には「日本のまつり」をやりたい。ねぶた、

戸畑の祇園太鼓、阿波おどり、石見かぐらなど日本の代表的な祭りを一堂に集める。これは夜だけになると思いますが。そのあとに韓国のナショナルデーが四日ほど入ります。十五日から二十三日まで「リオのカニバル」が入る。ここで華やかなカニバルが九日間つづきます。非常に楽しいリオのカニバルの再現です。その間にマルセイユから聖歌隊も来ます。二十四、五、六日は「ポートピア盆おどり」をお客さんに参加していただいでるんびりとやる。金沢明子など一流の歌手が出ます。二十九日から五日間「OSK日本歌劇団公演」を入れます。ずい分と張り切つていらつしやるので楽しいものになると思います。また、「ミュージカル・パレード」が一日だけありますが、近畿六府県の警察音楽隊による演奏と白バイのパレードです。九月二日です。そのあとに「スインターナショナル世界大会」。四日から三日間とつていますが、世界から美女がやつて来ます。審査発表会と民族衣裳パレードをやります。それが終了すると早いものでもう「さようならポートピア」。八日から十五日まで、宝塚歌劇団を中心にした楽しいショーをやつて、閉会式が十五日です。

以上が大きなラインアップです。その他、ナショナルデー・スペシャルデー催物。これは、ポートピアに出展する国または催物の参加国による催しで、どんどん入つて来ると思いますが。万博はもう少し日本的だったが、こっちは、神戸が国際都市なのでインターナショナルなムードが出て来ている。また、地方自治団体が「ふるさとの日」をつくつています。ですからいつおいでになつても楽しく見られる。期待していただいでいいのじゃないかと思えます。

#### “理論”面は国際交流会館で

小石 今、お話を伺っていますと、みんなそれぞれ面白い催しになると思います。分野が体操から演歌まで多方面にわたっていますし、各国の出演がありますから、何



べんポートピアにやっ来て来られても、今日も面白かったと、感激が新たななと思いますね。

**内海** 収容人数は広場外周スタンド約千六百人、広場部分約千人、最大約二千六百人です。公演は原則として一日二回、各一時間三十分です。

**小石** 万博のときもそうだったんですが、梅雨時なんかはやはり観客が減りますね。そういうときに催物で客を吸引することが必要ですね。

**佐野** 私としては、博覧会のメインテーマ「新しい海」の文化都市の創造にびったりの催物であると、高く評価していいのじゃないかと思っています。

**小石** 私は祭りはかえって雑然としているのがいいと思う。一定の傾向が見えるような整然とした行き方よりも、何や分らんがいろんなものがゴチャ混ぜに出て来るという方が面白いと思いますね。

それと「国際広場」とは別に会場がありますね。

**内海** 国際交流会館・メインホールですね。初めは七百人のキャパシティに見合う催物を計画していたのですが方針が変わって貸し館ということで、万博ホールのように使います。

**浜野** 催物としては連日つまっています。例えば、兵庫県の日・洋舞合同公演、クラシックのコンサート、合唱、着物のショー、落語、喜劇、民踊、各学会各団体の総会などを集中的にここへ持って来ます。

**佐野** 国際交流会館では「固い」ものも考えています。一つは、二十一世紀の未来は新しい海上都市にあるんだとこれまでいるんな人が言っ来て来られたのですが、その一つの総仕上げのシンポジウムですね。これが要るのではないかということ。それからもう一つは、神戸はファッション都市としてこれから伸びるのだという都市づくりのテーマがありますので、ファッションのシンポジウムのようなものも一つ要るのじゃないかと思っ来ています。この二つを検討しているところですよ。

**浜野** もう一つ屋内水泳競技場のプール面に床を張っ

使う屋内催物場があります。ここでは「静かな」催物をやる計画です。オープニングは各流派を網羅した生花展。あと盆栽展とか世界の切手まつり。また総会関係などで埋めて行く予定です。

**佐野** もう一つ、ポートピアギャラリーがあります。芸術的な香りのものをフアンの人に提供しようというもので、目下、進行中です。日本画、洋画、それからテーマが海ですから海をテーマにした名作を集めて見てもらうように考えています。

**内海** また、南公園のなかではお茶会をやったり、非常に多彩ですね。

**浜野** 会場の東西八百米をつなぐためにミニSLのパノラマカーを走らせます。また、国際的なものではヨットレースを考えています。六月十五日ぐらいにサンフランシスコを出るシングルハンドヨットレースで、四十日ほどかかって開期中に博覧会会場へ着く。あと、まだ決っておりませんが、チリなどの世界の帆船に來てもらおう。「日本丸」「海王丸」は來ると思います。

**内海** 神戸市がやる博覧会ですから、地方博に毛の生えたものではないかと思っし、ミニ万博といわれているだけに恥ずかしいものにならないといけない。それだけの華やかさが出來来ないといけない。半年間ようやったなど語り草になるようないい博覧会にしたいですね。頑張りたいと思っします。

**浜野** 行かな損だぞ、見ないと損だぞ、とそう言われる博覧会にしたいと念願をしています。

**小石** 博覧会の成功は疑ってないのですが、ただ、神戸以外の人がたくさん來られますが、その人たちにいい印象を持って帰ってもらわないといけない。それが博覧会後の神戸のイメージアップに役立つと思っしますね。みんなて町を綺麗にして、よそから來る人に親切にするキャンペーンをする必要がありますね。

**内海** 來られた方にいい印象で帰ってもらうことが一番大切でしょうね。(神戸オリエンタルホテルにて)

---

### 田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作  
神戸市灘合区旗塚通 6-3-10  
TEL (078) 231-3321

---

### オールスタイル株式会社

取締役社長 川上 勉  
神戸市生田区伊藤町121  
TEL (078) 321-2111

---

### カネボウベルエイシー株式会社

取締役社長 福岡 必三  
神戸市生田区三宮町1丁目17-4  
センタープラザ東館 8F  
TEL (078) 392-2101

---

### 株式会社ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男  
神戸市生田区三宮町1丁目54  
TEL (078) 332-3155

---

### モロゾフ株式会社

取締役社長 葛野 友太郎  
神戸市東灘区御影本町6丁目11番19号  
TEL (078) 851-1594

---





この道ひとすじ  
伝統の味を贈りものに...



菅園は百有余年  
お茶は千年、  
心にしみるお茶の味  
銘茶 千年



神戸銘菓  
玉すだれ



銘茶の老舗

菅園

本店 / 神戸市生田区多聞通 3-2-1  
湊川神社前 TEL (078) 341-1401 (代)

心のもったもてなしの  
器

豊かな食卓を演出する



社団法人 日本工芸会正会員  
木村盛伸先生作陶品

美術陶磁器  
湊洲堂

湊川店 / 神戸市兵庫区荒田町 2 丁目18番20-106号  
湊川商店街湊川フラザ1F ☎511-4191-3  
三宮店 / 神戸市生田区三宮町2丁目1-5  
センタープラザ西館2F ☎331-8758





## 経済ポケット ジャーナル



★外車のヤナセ 東灘に

神戸支店が新装オープン  
外車の輸入販売を主たる  
業務とする株式会社ヤナセでは、  
全国で七番目の支店として  
東灘区、国道2号線沿に神  
戸支店△榊原康造支店長△を開  
設、九月十三、十四日のオ  
ープニング・ショーのあと  
二十四日から営業を開始す  
る。このヤナセ神戸は、葺



ヤナセ神戸支店新社屋

台区の神戸営業所が手狭に  
なったため移転するもので  
従来の西宮、姫路エリアな  
どを統轄して兵庫一円をカ  
バー。最新の技術と設備を  
もった工場や中古車センタ  
ー、ショールームを備える

ほか、車もファッショング  
というファッション観をも  
つヤナセが、かねてより一  
流ホテル等に展開している  
「ブティック・ヤナセ」を  
併設して、モラビトなどの  
輸入商品を販売する。

神戸支店△東灘区本山南  
町7丁目8-26 電話078-45  
3-1171

★南ビル、新会長に

増田栄氏就任

マンション・パレスシリ  
ーズを展開する株南ビル  
△南善社長△が、本社ビル新  
築に伴う事務所移転と新会  
長の就任を兼ねて、去る八  
月八日、神戸商工貿易セン  
タービルで記念パーティを  
開いた。



金井元彦氏もお祝いのあいさつ

南ビルは、不動産業務の  
他に、スイスのコーヒーマ  
ーカー「エグロ」などの輸  
入、シーサイドクラブ・パ  
レス塩屋などの経営、海外  
事業という四つの柱で活躍  
する企業で、最近ではモナコ  
のグレイス王妃から大型ク  
ルーザー「グレイス号」を  
譲り受け、来春のポルトビ  
ア81にも登場させることで  
話題を呼んだ。

また新会長には前兵庫県  
信用保証協会理事長の増田  
栄氏が就任。この日のパー  
ティでお披露目をした。

新事務所△神戸市東灘区西辺通5  
神戸商工貿易センタービル17階  
電話078-232-1130

★中小企業の経済情報誌

「ひょうご経済戦略」創刊

兵庫県産業情報センター  
△石井要介理事長△が企業の情  
報誌「ひょうご経済戦略」  
を創刊した。県内経済を中  
心に、経済動向といったマ

## ★KOBEOフィスレディ★



小林多恵子さん (23)

△関西電力神戸支店勤務△

甲南女子短期大学を卒業後、入社以来現在ま  
まで支店長室の広報を担当。主な仕事は、同支店  
の社内報「こうべ」の編集をしている。

雑誌を読むのが好きで、「例えば?」とたずね  
ると即座に「神戸っ子」と答えてくれた。タウ  
ン誌が特に好きだけど、GOROも面白いと語る  
巨人ファンの気さくで明るいお嬢さん。ハシヤ  
グのが好きだから、ディズニーランドとラスベ  
ガスで大騒ぎがしてみたいそうだ。



ひょうご経済戦略

企業」の二大論文。毎号の  
シリーズとして「地場産業  
めぐり」「企業訪問」「経営  
戦略シリーズ」などを企画  
し、県下の中小企業経営者  
にとっては必読の内容。ま  
たタイトルの「ひょうご経  
済戦略」は坂井時忠県知事  
の命名。定価五〇〇円。

# KOBE ● FASHION ● FAIR ● '80

コウベ・ファッション・フェア・プログラム

## ビューティフルこうべの秋の祭典

恒例のコウベ・ファッションフェアの季節が今年もやってきた。

神戸市、神戸商工会議所、神戸新聞社の三者共催で昭和48年にスタートしたこの催し、ファッション都市神戸には欠かせぬイベントとして定着してきたが、今年はポトビア'81を控え、世界に向けて神戸ファッションを大きくアピールする一大ステップである。

「ブレポートビア'81」コウベファッションフェア'80の統一テーマは「ビューティフルコウベ」。神戸のオリジナルなデザイン、生活文化が更に掘り起こされ、創造されていくことであろう。

### ★コウベ・ファッションデザインコンテスト'80

神戸を中心とするデザイナーやデザイナー志望者の人材育成、市民のファッション感覚の向上などをねらいとして昭和49年から実施している。ハイファッションの部（神戸のファッションをクリエイトするハイセンスなオリジナル作品）三一九九点、マイファッションの部（神戸の日常生活から生まれたホームメイドな作品）一九〇点、計三三七九点の応募作品中から優秀作が選ばれ、9月6日のコウベ・ファッションショー'80で発

表、三越神戸支店で9月9日～14日の間展示される。

### ★コウベ・ファッションショー'80

9月6日の2時、6時の2度に分けて神戸国際会館で行われる。入場料は二五〇〇円。前記のコンテスト入賞者の発表のほか、KFAショーではポトビア'81に向けて神戸の各ファッションメーカーが意欲的に創りあげた新作デザイナーが披露され、KFCのクリエイターたちは、日本真珠輸出組合の真珠デザインコンテスト入選作品にコーディネートしてトータルファッションを作りだす。またシニ



昨年の華やかなショーの舞台



昨年のデザインコンテスト入選作の披露



美しき主張をテーマに

「ズデザインナーグループが協賛して衣裳にあわせてオリジナルな靴を製作している。ショーの合間にはポトビア81「ファッショナライブショーアター」の基本構成（ファッショナのルー）を紹介する企画も盛り込まれている。

全体の演出・構成は、東京ファッションウィーク等を手がけておなじみの木村茂さん。秋川リサ、アンジェラ、スーザン矢口などの一流モデルが顔を揃えて、美しさを競う。

一景「オープニング」(オールス・スタイル)。二景「スポーツ」(横山ヤナイ、ファミリア、エンバイヤ、エウル、キムラタン)。三景「タウンパートI」(モードオリオン、モードバビオン、パール、モードリンダ、ジャヴァ)。四景「三つのカラーによるスポーツテイブカジュー」(Aグループ―真殿恵津子、武田昭子、吉田叢絵、米谷玲子、Bグループ―岡原加代子、武田年子、専崎恵美子、川崎千恵子、Cグループ―中西省悟、中島嘉子、大西節子、正本幸子)。五景「第八回インターナショナルパブルデザインコンテスト入賞作品発表」衣裳製作KFC(日本真珠振



KFCと真珠のジョイントショー

興会、日本真珠輸出組合)。六景「タウンパートII」(キアラバン、ワールド、マドンナ、仲和スタイル)。七景「フォーマル」(マスマミヤ、ミツワ、ジュネス、東洋ドレス)。八景「ファイナール」

★80神戸ファッション市民大学  
。「市民セミナー」

昨年から幅広い市民層を対象に神戸市と神戸新聞社の共催で始められたセミナーである。各界の文化人がファッション文化について講演する。今回の講師は、映画監督の篠田正浩氏などが予定されている。神戸国際会館小ホールにて9月30日から10月3日まで(有料)。「アパレル専門コース」

このコースは、神戸市の主催でアパレル業界の人およびファッション産業に興味のある人を対象として行われる。「80年代のファッション・ビジネスはいかにあるべきか」というのが今回のテーマで、マネージメントに重点を置いた内容が組まれている。江尻弘(マーケティング・サイエンス研究所)、吉岡正幸(帝人理事)、三島彰(現代構造研究所長)、佐藤隆三(旭化成工業マーケティング部長)などの各氏が講師として予定され、10月2日から12月5日の間に10回、中小企業会館にて。

★ファッション公開講座

春に引き続きKFS主催で行われる講座で、一九八一年春夏ファッションの傾向について立亀長三氏(アトリエナクト)がヨーロッパ、アメリカのモードをスライドを使って解説。10月1日、センタープラザで入場料一五〇〇円。

★兵庫県洋裁学校連盟創立30周年  
記念バザー

県下洋裁学校の生徒による手作り作品、陶器、布地などのバザーが10月4日に兵庫県私学会館で行われる。入場料一〇〇円。

★美容業界セミナー

神戸市美容連合会と神戸市中小企業指導センターの共催で、81年ファッションの動向とヘアモードファッション都市にふさわしい美容室、つくりについて講習を行う。9月18日、中小企業会館にて。

★期間中のその他の催し

新長田駅前ビルのジョイプラザ名店会では、9月21日にポトビアガールズなどを招いて「80秋冬ファッションショー」を開く。

また大丸神戸店では80レディスファッションフェア、大丸オリジナルランソール女児服の秋のカジュアルコーディネート特集、紳士服秋のトロージャングランドフェア、きものファッション秋の研修会。三越神戸支店では、80秋冬ヨーロッパ直輸入ブレタポルテコレクショーン、80秋「カトリクス」フロアショー。阪急百貨店神戸支店では、港神戸味めぐり、秋のハンカチーフ人気トップランドコンテスト、コットンショップ手作り展、料理と器コレクショーン。クレープ料理フェスティバル、ファッションブームナード秋のバザール。そごう神戸店では、神戸手づくりニットフェア。ベニー毛皮店は、新作毛皮逸品会、秋の香水フェア。オータムベザール。ファッションパークは秋の公園市を行なう。(詳細は各店にお問い合わせください)





ポトピア'81

# ポトピアアイランド情報

神戸ポトピアアイランド博覧会（昭和五十六年三月二十日～九月十五日開催）

## 演出家 玉三郎が会場視察

### ★世界最大の巨木

ジャイアントセコイアが到着  
「自然のめぐみ ひとの知恵」をテーマに、植物の生産するエネルギーの重要さを科学的実証的に展示する計画の芙蓉グループ。そのひとつ、世界最大の巨木といわれるジャイアントセコイアが、去る七月四日、ポトピアアイランドに到着した。このジャイアントセコイ



到着したジャイアントセコイア

アは、アメリカ大陸西部の山地にだけ生育しているもので、天然記念物として保護されているが、今回出展されるのは、すでに伐採されて山中に保存してある巨木の一部を輪切りにして運び込む。輪切りとはいっても、直径約五層、厚さ一層、重さ十七トという巨大なもので、樹齢二千五百年くらい。博覧会開催まで二百日以上もあるのに、早々と到着したのは、パピロン完成後では搬入できない

ため、このジャイアントセコイアを運び込んだ後に外装や屋根の工事を進める予定。

また同パピロンでは、現存する世界最大の海藻、ジャイアントケルプも展示する計画で、カリフォルニア州、モンテレー沖合で採取する。そして海中での生態や採取の様子は、ビデオで紹介することになる。

### ★住友館、人形の幻想劇演出の

坂東玉三郎さんが会場視察

「愛と希望のファンタジア」をテーマに出展する住友館で展開される音楽劇のプロデューサー、泉真也氏、構成演出の坂東玉三郎氏、音楽の富田勲氏、振付の竹邑類氏が、去る七月十八日、博覧会協会広報課長の松尾政男さんの案内で建設が急ピッチで進められる博覧会会場を見学した。

神戸市役所で宮崎市長を表敬訪問の後、一行は二階建てバスに乗って博覧会場予定地へ。みなと異人館での記者会見席上、坂東玉三郎氏は「今回を機に演出の方面にも目を向けたい。住友館では一スタッフとして心に残るものを作りたい」と話した。



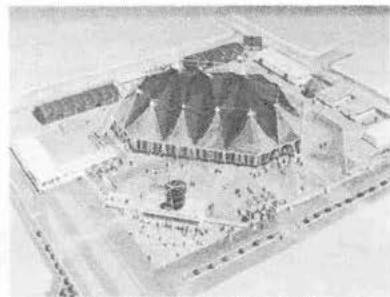
左から富田勲氏、坂東玉三郎氏、泉真也氏。

現在計画中の人形ミュージカルは、コンピュータを内蔵した動物や鳥の人形が展開する十五～二十分の童話劇で、玉三郎人形が主役の森の女神役で登場することになっており、富田勲氏の音楽とあいまって幻想的な世界が繰り広げられる。また、スタッフとして他に岩谷時子氏が作詞、妹尾河童氏が舞台装置を担当することになっている。

### ★ポトピアサーカスは

俳優の森繁久弥さんが演出

ポトピア会期中に会場西端に特設テントを張って、世界最大級のサーカスが公演される。敷地面積一万四百八十平方層、テント床



ポトピアサーカス完成予想図

面積二千五百平方尺、観客席三千席という規模で、来年創立八十周年を迎える我が国最大の木下サーカスが中心になってショーが繰り広げられる。

★サーカスの内容  
 ★アメリカンサーカス/猛獣ショー、空中ブランコショー、空中アクロバットショー、  
 ★木下サーカス/オーブリングパレード、  
 ★ピエロのつな渡り、たる回し、さかさ大の字ロケットショー、インド象の曲芸、肩で

★ジョイフル・メイツの

シンボルマークが決定

神戸商工会議所が、親切な対応とゆきとどいたサービスを提供する小売店や飲食店、ホテルなどを選定した「ポトピア」協力店の愛称はジョイフル・メイツと決定したが、そのシンボルマークが、二百二点の応募



作品のなかから選ばれた。入選したのは藤井武義さんの作品で、ジョイフル・メ

かかえる一本竹ショー、動物ぬいぐるみショーとピエロ体操、空中アクロバットショー、人間風車ショー、アシカの曲芸、ナンパングの珍芸、美女空中パラナスショー、空中ブランコショー、オートバイ同時二台乗りショー、立休ショー、美女による一輪車パレードなど。

演出を担当する森繁久弥さんは少年の心の中に残るものを作りたいたとして、子供たちが参加できる内容も織り込む考え。

公演は博覧会会期中全日(木曜休演、ただし三月二十五日、四月七日、四月二十七日、五月五日の間は無休)で、一日四、六回の公演。入場料五百円(前売四百円)

★コンパニオンの制服

審査会で決定

博覧会場で活躍するコンパニオンは現在募集中だが、約二百人のコンパニオンたちが着る制服の審査会が去る七月十五日に行われた。在神のデパートなど六団体か

イツの頭文字、JとMを鳥で表現、シンブルなデザインとなっている。色はマリンブルーで、模様を白スキ。

また、ジョイフル・メイツは神戸のイメージアップに努めることや、適正価格と品位を維持するなどを審査条件にして公募するが、小売店や飲食店、ホテルなど約三百店を選定。各店にはシンボルマーク入りの標識を貸与し、ショッピングガイドマップを配布する。登録料は同所

会員で二万円。締切りは九月十日。



左が夏服、右が白服

ら合服、夏服各十七点が出品され、服飾評論家のうらべまこと氏、小林公平総合プロデューサー、彫刻家の新谷英子さん、ポトピアガールズらが審査した。選ばれた合服は大丸の出品で、スカイブルーを基調にしたマリン룩。夏服は白地に紺のふちどりをしたワンピースで、こちらの出品。ともにポトピアのイメージを重視して選出された。

★約五十の地方公共団体が

「ふるさと回廊」で展示

全国の都道府県、政令指定都市などの自治体による地方公共団体出展者会議が去る七月九日に開かれ、参加した四十四団体によって

出展内容などが検討された。

それによると、国際展示場の二階、約千三百平方尺に「ふるさと回廊」(仮)を設け、自治体それぞれが工夫をこらした展示を行うほか、北側のワールドビレッジの約二百平方尺で各自治体の民芸品や特産品を販売するコーナーを設けたり、「ふるさとの日」を設定して各地の郷土芸能を国際広場で披露したりする計画。

この会議に参加した四十四団体は、ほぼ出展を決定。欠席した自治体のなかにも出展を検討しているところがあるので、最終的には五十団体前後となる見込み。

## 見るだけでも楽しい 趣味の店です

### 幻の神戸人形復活!

神戸人形とは、神戸開港  
間もない頃来航した異  
人船の黒人船員をモ  
デルに作られた珍妙  
なるカラクリ人形  
です。永らく製造  
されず「幻の人形」  
といわれていた  
神戸人形が今よ  
みがえりました。



三味線弾き・琵琶弾き・酒呑み・スイカ喰い  
各4,500円  
(いずれも高さ約9.5cm)

その他、店内には何千点とアイデアとセンス  
にあふれた商品が揃っています。店頭でゆっ  
くりとご覧ください。



世界の民芸品を集めた

# 神戸センター

神戸・三宮センター街1丁目・さんブリッジ南詰  
TEL (078) 321-0161 (代)

10月1日、開店15周年を迎えることになりました。  
神戸ファッションの広場として、  
今後ともよろしく願い申し上げます。

トータルファッションの殿堂



- 5 F 美容室
- 4 F 催し会場・火曜教室
- 3 F メガネ・毛皮・皮コート
- 2 F 手芸・毛糸・セーター・ブラウス・高級洋品  
・高級呉服・ブティック
- 1 F ハンドバック・舶来雑貨・呉服・化粧品・セ  
ーター・ブラウス・クラフト・靴下・婦人靴  
・ボタン
- B F 喫茶・そば・すし・焼きとり

スタイルビル

三宮・センター街東入口

## 福井商店

TEL (078) 331-2701 (代)



# ■中国の現代陶芸を集め エンバ中国近代美術館 芦屋奥池に完成



左上是テープカットにかかる植野館長・佐野長官・王総領事・近衛夫妻。右上は全景。



左下はセレクトして飾られた現代中国陶器の部屋。喜びの植野館長も場内をく右下>

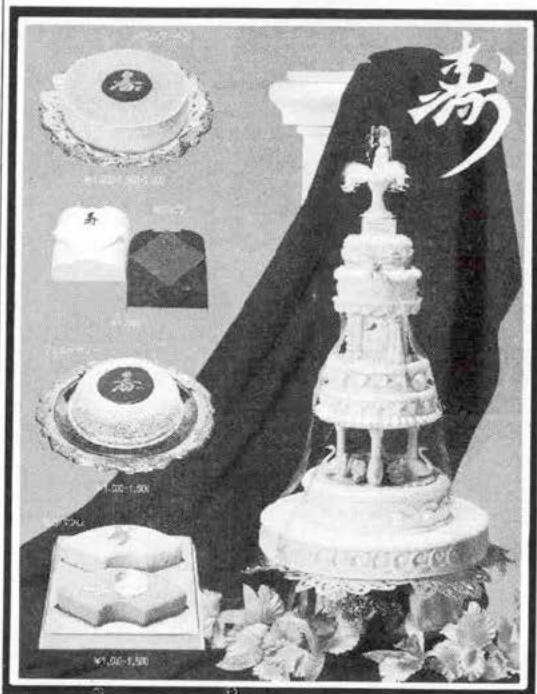


「30年間、私が商いの合い間にコツコツと集めてきた清時代中期以降の陶磁器や染織品を見てこの美術館を作ろうと思ったのです  
現在、かえり見られない中国の現代陶芸に暖かい眼を向けて行くことを引き続き行って、中国との友好を深めたいと思っています」  
とエンバ近代美術館長の植野藤次郎氏は、八月四日正午から芦屋奥池に優雅に建立されたエンバ中国近代美術館の設立披露パーティであいさつした。

三田設計事務所のデザインによるこの美術館は、ギリシア風と中国調をミックスした中庭のある二棟に分れた二階建の建築で、何よりも芦屋市奥山一番地一三六六という奥池を望む風光明媚な山中にあるので芦屋の新社所になりそう  
披露パーティには、佐野文一郎文化庁長官や、近衛忠輝、寧子夫妻、王中国総領事、園田天光夫人を始めとする文化人約三百名が参加して華やかに開かれた。

佐野長官は「現代中国美術の紹介が日中文化交流として発展し、芦屋の人々に愛される美術館になってほしい」とあいさつ。二万点のコレクションの中から景德鎮の作品や江蘇省の刺繍など約百点が飾られた。エンバ美術コンクールなど現代美術へのアプローチも異色。今後の企画展が楽しみだ。A M 10時～P M 4時（火休）八月中一般入場無料。九月から有料公開予定。☎〇七九七（三八）〇〇二一

佳き日のお引出ものに



北 欧 の 銘 菓

**ユーハイム・コンフェクト**

■ 本社 神戸市菅合区熊内町1-8-23 ☎221-1164

**NEW YORKERS' CHOICE**

*Ray-Ban*<sup>®</sup>

**FRAME  
COLLECTION**



感覚派に **I-SHAPES**



行動派に **Ray-Ban**



知性派に **Ambassador**

**ニューヨーカーズ チョイス!!**

いま話題のニューヨーク感覚をそのまま身につけた眼鏡フレーム、ニューヨーカーが選んだ3タイプ。《感覚派》のためのアーティストック・モデル・アイシェイプ、《行動派》のためのスポーティ・モデル・レイバンフレーム、《知性派》のためのセルフレーム・モデル・アンバサダー。多彩なまでのバリエーションを一堂に取り揃えています。

 **神戸眼鏡院**

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

話題のひろば

<II>

# 真夏の夜に サンバパーティー

■「サンバ・デ・ポトピア」発売記念



上左/楽しく踊る今岡舞踊団の女の子たち 上右/左から上平田裕子さん、森哲也さん、河内成夫さん  
下/会場はサンバー色、踊り狂う神戸っ子たち。

サンバの集大成として本誌が企画制作したLPレコード「サンバ・デ・ポトピア」の発売記念、第1回キャンペーン「サンバパーティー」が、去る8月2日、サントノーレ北野店で開かれた。

作詞・作曲、演奏など、神戸っ子たちが、いわば「手弁当」で約10ヶ月かけて完成したこのレコードには、オリジナルのサンバ曲が12曲収録されているが、今年の神戸まつりでこれらの曲が神戸の街に響き渡っており、すでに神戸のサンバとして定着した様子。

この日のサンバパーティーは、いきなりA歌え踊れ神戸っ子Vを演奏してオープン。スタッフを紹介した後、松井一郎神戸文化ホール館長がお祝いのあいさつ。画家の犬童徹さんが乾杯音頭。そして河内成夫さんがAバンドのサンバV上平田裕子さんがAサンバ・デ・アイランドV、森哲也さんがAサンバ・デ・ポトピアVと、それぞれの持ち歌のなかから一曲ずつを披露した。そして今岡領子舞踊団の女の子たち5人が、加藤きよ子さん振付によるAサンバ・デ・アイランドVを踊って花を添えたところで会場はもうサンバー色。真夏の夜、踊りに踊って快い汗を流した。

★LP「サンバ・デ・ポトピア」は、市内主要レコード店、神戸っ子編集部、サントノーレ、シャンゼリゼ、キャンディ北野で発売中。2,500円。